

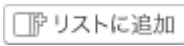


イベント 終了しました

## 古書で紐解く近現代史セミナー第13回「内田嘉吉文庫 蔵書に見る古書の形と歴史 — 修復と製本の現場から —」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>内田嘉吉文庫の蔵書は約800点の古版本を含む16世紀から20世紀の蔵書で構成されています。その中には各時代の特徴的な製本装幀を残す本も数多く含まれ、見るものを愉しませてくれます。しかし古書であるゆえ紙や革の劣化が進んでいる本や、使用による破損も多いことも事実です。今回は、それらの壊れた本や、修復の過程で垣間見える本の構造も交えながら、内田嘉吉文庫で見ることのできる製本の歴史をたどります。</p> <p>※千代田区民の方は住所が確認できるものをお持ちください</p>
日にち	2015年04月23日（木） 19:00から20:30
日にち説明	当日の受付開始18:30～
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	▶ <a href="#">案内チラシ</a>

定員	40名（申込順）
参加費用	1,000円（千代田区民500円）
講師・出演者	藤井敬子／近藤理恵
プロフィール	<p>■藤井 敬子(ふじい けいこ)          版画家、製本家。          京都市立芸術大学で日本画と版画を学び、東京でルリユールと出会う。          1999年、版画製本工房を開設、ルリユールの受注制作と製本指導をする傍ら、工芸製本の魅力を広めようと「東京製本倶楽部」を設立、運営に携わる。作品はヨーロッパの数々の国際製本展で受賞。          NHK「趣味悠々」、美術館、図書館、NHKなどで製本講座や講演を行う。          京都精華大学、名古屋芸術大学非常勤講師。東京製本倶楽部運営委員。</p> <p>■近藤 理恵(こんどう りえ)          製本・書籍修復家。          フランスCentre des Arts du Livre (UCAD)、Atelier des Arts Appliqués du Vésinetにて工芸製本、箔押し装飾、書籍修復を学ぶ。          1994年より製本・書籍修復の工房を設立。洋古書や明治以降の日本の本の修復、工芸製本の注文制作に携わる。学校や図書館などで製本指導や講演なども行う。          武蔵野美術大学、東洋美術学校非常勤講師。東京製本倶楽部運営委員。</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2015年03月05日 10:00 から2015年04月23日 19:00
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
関連リンク	▶ <a href="#">内田嘉吉文庫</a>
発信日	2015.03.05



---

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.